



2017年2月28日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社  
代表者 代表取締役社長 CEO 畑中 好彦  
コード番号 4503  
(URL <http://www.astellas.com/jp>)  
東証 (第一部)  
決算期 3月  
問い合わせ先 広報部長 臼井 政明  
Tel: (03)3244-3201

## Affinivax 社の肺炎球菌起因疾患を対象としたワクチンに関する

### 全世界における独占的ライセンス契約締結のお知らせ

#### **-Affinivax 社の MAPS 技術を利用した新規のワクチンを開発-**

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:畑中 好彦、以下「アステラス製薬」)は、Affinivax Inc.(本社:米国マサチューセッツ州、CEO: Steven B. Brugger、以下「Affinivax 社」と、同社の多重抗原提示システム(Multiple Antigen Presentation System、以下「MAPS」)技術を利用して創製した肺炎球菌起因疾患を対象としたワクチンについて、全世界における開発・商業化に関する独占的ライセンス契約を締結しましたのでお知らせします。

肺炎球菌は健常な小児や成人の上気道で高頻度に見つかる細菌です。アメリカ疾病予防管理センターの試算によると、米国では年間約90万人が肺炎球菌に起因する疾患に罹患し、その内、約40万人が入院し、約5万人が亡くなっていると言われていています。更に、世界保健機関の試算では、特に新興国において肺炎球菌に起因する疾患で多くの方が亡くなっており、その数は世界で年間約160万人にのぼり、その約半分が5歳以下の小児であると言われていています。肺炎球菌は肺炎、髄膜炎、敗血症等を引き起こす可能性があることから世界規模の公衆衛生問題となっているため、より予防効果の高いワクチンが待ち望まれています。

本ワクチンは、MAPS 技術を利用して創られた糖鎖抗原とタンパク質抗原の両方から成る肺炎球菌ワクチンです。その結果、既存のワクチンに比べて、侵襲性感染症<sup>1)</sup>に対して広範囲の予防効果を発揮し、更に、上咽頭における病原菌のコロニー形成を抑制することが期待できます。

アステラス製薬の上席執行役員・経営戦略担当である安川健司は次のように述べています。「画期的な MAPS 技術を利用した肺炎球菌ワクチンの開発について Affinivax 社と提携したことを嬉しく思います。MAPS 技術を利用したワクチンが、高いアンメットメディカルニーズである肺炎球菌に起因する疾患の予防における新たな選択肢となり、世界中の患者さんへ一層の貢献ができるものと期待しています。」

Affinivax 社の CEO である Steven B. Brugger は以下のように述べています。「我々の MAPS 技術をアステラス製薬に評価して頂いたことを光栄に思います。今後、アステラス製薬をパートナーとしてワクチンの開発を進めることにより、世界的に重要な肺炎球菌に起因する疾患の予防に貢献できることを嬉しく思います。又、この提携はアステラス製薬のワクチンフランチャイズ強化に貢献できるものと考えています。」

本契約締結に基づき、アステラス製薬は今後、本ワクチンの開発・商業化を行い、これらに要する費用を負担します。また、アステラス製薬は Affinivax 社に対し、10 百万ドルの契約締結時一時金のほか、開発の進捗に応じた対価及び上市後は一定の売上高達成に応じた対価を支払います。更に、アステラス製薬は、Affinivax 社に対して、正味売上高に応じたロイヤルティを支払います。

なお、今回の契約締結に伴うアステラス製薬の当期(2017 年 3 月期)業績への影響はありません。

<sup>1)</sup>侵襲性感染症: 血液や髄液等、本来菌の無い部位から細菌が検出された場合を指し、一般的に重症例が多い。

## Affinivax 社について

Affinivax 社は重症な感染症に対する高いレベルのワクチンを開発する次世代技術に挑戦しています。Affinivax 社は Bill & Melinda Gates Foundation の支援と世界のワクチン専門家との協働の下、世界の小児又は成人に対するワクチンのパイプライン構築を行っています。又、2015 年初頭より、非営利団体である PATH の支援の下、MAPS ワクチンの肺炎球菌起因疾患に関する研究を進めています。更に、Affinivax 社はアステラスとその業務提携先である ClearPath Development Company と 2015 年 9 月より MAPS 技術を利用した院内感染症予防ワクチンに関する共同研究を推進しています。更なる詳細は同社ウェブサイト([www.affinivax.com](http://www.affinivax.com))をご覧ください。

以上

#### **注意事項**

このプレスリリースに記載されている開発品に関する安全性や有効性は、検証中のものであり立証されたものではありません。また当局からの承認や製品として使用できるようになることを保証するものではありません。なお、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。

---

#### **お問い合わせ先:**

アステラス製薬株式会社

広報部

TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473